

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名		14800	子ども医療費助成事業	予算科目	会計	款	項	目	担当班	子育て支援班
基本施策		7	子育て支援の充実	根拠法令	一般	3	3	1	事業種別	主なる事業（重点施策）
施策の展開		16	子育て世帯への経済的支援	戦略事業	86	子ども医療費助成事業補助金交付要綱他				国土強靱化地域計画
施策の展開				戦略事業						新市建設計画
										定住自立圏構想
										主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 14 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	子どもの医療に要する費用を負担する保護者に、一部負担金の全部又は一部を助成することにより、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を図る。 【助成対象】 高校生等まで、保険診療適用の入院・通院・調剤に対して医療費を助成 【自己負担額】 市町村民税所得割課税世帯 300円（入院1日300円、通院1回300円）、非課税世帯等 無料 【現物給付】 助成対象者が医療機関で子ども医療費助成受給券を提示することにより、医療費の助成が受けられる。 【償還払】 被保険者証を提示できなかったり、県外の医療機関で受診した場合、医療費の領収書により、請求手続きを行うことで助成が受けられる。	子育て世帯（特に乳幼児がいる世帯）の医療費が高額となることから、当該世帯の経済的負担を軽減することで、子どもの保健の向上及び子育て支援体制の充実を図った。	【助成対象拡大】 <平成22年12月> 小学校3年生（小学校就学前から） <平成24年4月> 所得制限廃止 <平成24年12月> 入院を中学3年生まで <平成25年8月> 通院を中学3年生まで <平成30年4月> 高校生等まで	受診頻度が多く医療費も高額となる子どもの医療費が、低額又は無料となり、子育て中の家計が助かる。安心して病院に受診できる。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (30年度の決算)	単位:千円	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)
1. 需用費	257	166	243	47	257	38
2. 役務費	6,448	7,012	7,337	6,919	6,448	6,412
3. 扶助費	204,385	186,598	201,062	200,455	204,385	202,927
4. 賞金、共済費	1,933	0	0	0	1,933	2,188
事業費計 (A)		193,776	208,642	207,421	213,023	211,565
② 特定財源の内訳 (30年度の決算)	単位:千円	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)
1. 国庫支出金	0					
2. 都道府県支出金	69,279	67,662	72,540	71,756	69,279	68,926
3. 地方債	0					
4. その他	2,117	2,496	2,739	2,559	2,117	
特定財源計		123,618	133,363	133,106	141,627	142,639

前年度増減理由	臨時職員雇用、助成対象者の拡大による
---------	--------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 5 人 × 10 日 = 延べ 50 人

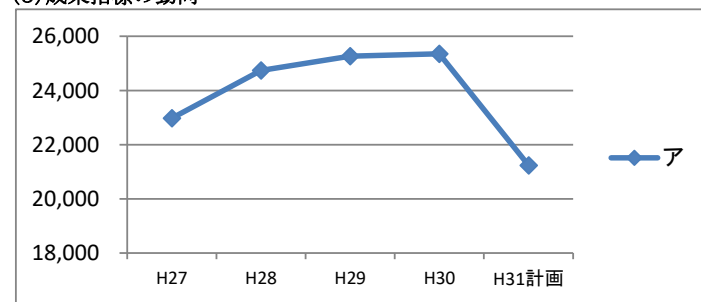
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
手段	30年度実績 (30年度に行った主な活動) ・H30.4.1より助成対象者を中学3年生から高校生等までに拡大。高校生等については償還払いで助成をする。 ・子どもの医療に要する費用を負担する保護者に、当該費用の全部又は一部を助成する。	ア 子ども医療費助成件数 (入院、通院、調剤、柔整)	件	81,678	89,305	87,492	87,764	89,901
		イ 子ども医療費助成対象者数 (受給券及び認定通知書交付者数)	件	8,122	8,127	7,933	9,486	9,555
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
目的	対象 子どもの医療に要する費用を負担する保護者 意図 子どもの医療に要する費用を負担する保護者の経済的負担を軽減 対象 意図	ア 子ども一人あたり医療費負担軽減額 (中学3年生まで)	円	22,974	24,740	25,268	25,353	21,237
		イ 子ども一人あたり医療費負担軽減額 (高校生等)	円				4,677	

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				②コスト削減優先度評価結果				
		成果向上余地			コスト比率			
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位1/3	中位1/3	上位1/3	
施策貢献度	大きい		②		評価結果	①		
	普通					②		
	小さい					③		(9)
				④⑤				
				⑥				
				⑦⑧				
				⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況 【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	☐完了☒順調☐概ね順調☐停滞☐実施困難													
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	成果動向	比較	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標イ			☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	ア		27年度	28年度	29年度	30年度	31計画	
								イ							
	③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他 ()						
		H31.4～	例年どおり実施			通年	引き続き事業を実施する								